

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 3 部門第 3 区分
 【発行日】平成 17 年 3 月 10 日 (2005.3.10)

【公開番号】特開 2001-72987 (P2001-72987A)

【公開日】平成 13 年 3 月 21 日 (2001.3.21)

【出願番号】特願 平 11-253614

【国際特許分類第 7 版】

C 1 0 M 105/04
 F 1 6 C 19/16
 F 1 6 C 29/04
 F 1 6 C 29/06
 F 1 6 C 31/06
 F 1 6 C 33/66
 // C 1 0 N 20:00
 C 1 0 N 30:00
 C 1 0 N 40:02
 C 1 0 N 40:06

【F I】

C 1 0 M 105/04
 F 1 6 C 19/16
 F 1 6 C 29/04
 F 1 6 C 29/06
 F 1 6 C 31/06
 F 1 6 C 33/66 A
 F 1 6 C 33/66 Z
 C 1 0 N 20:00 Z
 C 1 0 N 30:00 E
 C 1 0 N 40:02
 C 1 0 N 40:06

【手続補正書】

【提出日】平成 16 年 4 月 6 日 (2004.4.6)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

外方部材と、内方部材と、該外方部材と該内方部材との間に配設される転動体と、を備えた転動装置において、 20 における蒸気圧が 10^{-11} t o r r 以下であるアルキル化シクロペンタンを主成分とする潤滑剤を、前記外方部材の前記転動体との接触面、前記内方部材の前記転動体との接触面、及び前記転動体の転動面の少なくとも一つに備えたことを特徴とする転動装置。

【請求項 2】

前記潤滑剤は、厚さが $0.1 \sim 10 \mu m$ の被膜状であることを特徴とする請求項 1 に記載の転動装置。

【請求項 3】

前記潤滑剤はグリースであることを特徴とする請求項 1 又は請求項 2 に記載の転動装置。